

総合科目

目次

博士総合演習 A(a)(前期),(b)(後期).....	1
博士総合演習 B(a)(前期),(b)(後期).....	5
博士総合演習 C(a)(前期),(b)(後期).....	10
博士総合演習 D(a)(前期),(b)(後期).....	15
博士総合演習[音楽文化研究](a)(前期)	18
博士総合演習[音楽文化研究](b)(後期)	21
博士総合演習[楽書原典研究](英) (a)(前期),(b)(後期)	24

博士総合演習[楽書原典研究](独) (a)(前期),(b)(後期)	33
博士総合演習[楽書原典研究](仏) (a)(前期),(b)(後期)	38
博士総合演習[音楽資料研究](前期)	42
博士総合演習 EⅡ[作曲法研究](集中)	45
博士総合演習 G[コンピューター音楽研究](集中)	48

博士総合演習 A(a)(前期),(b)(後期)					
担当教員 土田 英介 教授			曜日時限		水 4 時限
実施キャンパス 調布	単位	各 1 単位		対象年次	博士 1 年～

【授業の概要】

バッハから近代までの西洋音楽の歴史とともに、スタイルの違い、共通点を考えていく。

【到達目標】

それぞれのスタイルの認識とともに、学生 1 人 1 人が個と普遍を意識するようになる。

【履修資格/履修に必要な予備知識や技能】

大学院生のみとなる。皆さんに考え、演奏してもらう事を主体としたい。ですから、和声力、分析力が必要となる。

【授業の形式】

講義と演習

【成績評価の要点①】

試験	提出課題・作品発表等	受講姿勢
	50%	50%

【成績評価の要点②】

成績評価は、上記の項目に基づき A, B, C, D で評価する。

【課題に対するフィードバックの方法】

次回授業時にフィードバックする。

【授業展開と内容-前期】

1.ウィーン古典派のソナタ形式について。

事前学習	今までに経験した古典派のソナタ形式で書かれた楽章について復習してくる こと。	時間	45 分
事後学習	授業の内容を理解すること。	時間	45 分

2.ウィーン古典派のソナタ形式の確立について

各自バッハ平均律クラヴィーア曲集第 2 巻の楽譜を持ってくること。

事前学習	バッハ平均律クラヴィーア曲集第2巻からウィーン古典派のソナタ形式に近いプレリュードを探してくる事。	時間	45 分
事後学習	授業の内容を理解すること。	時間	45 分

3. モーツァルト、ヴァイオリン・ソナタ変ロ長調K.454 第1楽章の分析と演奏。

事前学習	当たっている学生が練習合わせをするのは勿論、他の学生もモーツァルト、ヴァイオリン・ソナタ変ロ長調K.454 第1楽章について考えてくること。	時間	45 分
事後学習	授業の内容を理解すること。	時間	45 分

4. モーツァルト、ヴァイオリン・ソナタ変ロ長調K.454 第2楽章の分析と演奏。

事前学習	当たっている学生が練習合わせをするのは勿論、他の学生もモーツァルト、ヴァイオリン・ソナタ変ロ長調K.454 第2楽章について考えてくること。	時間	45 分
事後学習	授業の内容を理解すること。	時間	45 分

5. モーツァルト、ヴァイオリン・ソナタ変ロ長調K.454 第3楽章の分析と演奏。

事前学習	当たっている学生が練習合わせをするのは勿論、他の学生もモーツァルト、ヴァイオリン・ソナタ変ロ長調K.454 第3楽章について考えてくること。	時間	45 分
事後学習	授業の内容を理解すること。	時間	45 分

6. ハイドン、弦楽四重奏曲GDur Op.76-1 第1楽章又はピアノソナタ Adur Hob./26 第1楽章について。

事前学習	当たっている学生が練習するのは勿論、他の学生もハイドン、弦楽四重奏曲GDur Op.76-1 第1楽章又はピアノソナタ Adur Hob./26 第1楽章について考えてくること。	時間	45 分
事後学習	授業の内容を理解すること。	時間	45 分

7. ハイドン、ピアノソナタ Cdur Hob./48 第1楽章について。

事前学習	当たっている学生が練習するのは勿論、他の学生もハイドン、ピアノソナタ Cdur Hob./48 第1楽章について考えてくること。	時間	45 分
事後学習	授業の内容を理解すること。	時間	45 分

8. ベートーヴェン、ヴァイオリン・ソナタ第7番ハ短調作品30-2 第1楽章の分析と演奏。

事前学習	当たっている学生が練習するのは勿論、他の学生もベートーヴェン、ヴァイオリン・ソナタ第7番ハ短調作品30-2 第1楽章について考えてくること。	時間	45 分
事後学習	授業の内容を理解すること。	時間	45 分

9. ベートーヴェン、ヴァイオリン・ソナタ第7番ハ短調作品30-2 第2楽章の分析と演奏。

事前学習	当たっている学生が練習するのは勿論、他の学生もベートーヴェン、ヴァイオリン・ソナタ第7番ハ短調作品30-2 第2楽章について考えてくること。	時間	45 分
事後学習	授業の内容を理解すること。	時間	45 分

10. ベートーヴェン、ヴァイオリン・ソナタ第7番ハ短調作品30-2 第3楽章の分析と演奏。

事前学習	当たっている学生が練習するのは勿論、他の学生もベートーヴェン、ヴァイオリン・ソナタ第7番ハ短調作品30-2 第3楽章について考えてくること。	時間	45 分
事後学習	授業の内容を理解すること。	時間	45 分

11.ベートーヴェン、ヴァイオリン・ソナタ第7番ハ短調作品30-2 第4楽章の分析と演奏。

事前学習	当たっている学生が練習するのは勿論、他の学生もベートーヴェン、ヴァイオリン・ソナタ第7番ハ短調作品30-2 第4楽章について考えてくること。	時間	45分
事後学習	授業の内容を理解すること。	時間	45分

12.ベートーヴェン、ピアノソナタ第31番 Asdur 第1楽章について。

事前学習	当たっている学生が練習するのは勿論、他の学生もベートーヴェン、ピアノソナタ第31番 Asdur 第1楽章について考えてくること。	時間	45分
事後学習	授業の内容を理解すること。	時間	45分

13.ベートーヴェン、ピアノソナタ第31番 Asdur 第2楽章、第3楽章フーガの前までの演奏と分析。

事前学習	当たっている学生が練習するのは勿論、他の学生もベートーヴェン、ピアノソナタ第31番 Asdur 第2楽章、第3楽章フーガの前までを考えてくること。	時間	45分
事後学習	授業の内容を理解すること。	時間	45分

14.ベートーヴェン、ピアノソナタ第31番 Asdur 第3楽章フーガ以降の演奏と分析。

事前学習	当たっている学生が練習するのは勿論、他の学生もベートーヴェン、ピアノソナタ第31番 Asdur 第3楽章フーガ以降について考えてくること。	時間	45分
事後学習	授業の内容を理解すること。	時間	45分

15.復習とまとめ。

事前学習	前期の内容を整理してくる	時間	45分
事後学習	古典派とロマン派の繋がりについて考えること。	時間	45分

【授業展開と内容-後期】

1.シューマン「森の情景」～第1曲 森の入り口、第3曲 孤独な花

事前学習	当たっている学生が練習するのは勿論、他の学生もシューマンの書式について考えてくること。	時間	45分
事後学習	授業の内容を理解すること。	時間	45分

2.シューマン、ヴァイオリンソナタ第1番 a moi Op.105 第1楽章について。

事前学習	当たっている学生が練習合わせをするのは勿論、他の学生もシューマン、ヴァイオリンソナタ第1番 a moi Op.105 第1楽章について考えてくること。	時間	45分
事後学習	授業の内容を理解すること。	時間	45分

3.シューマン、ヴァイオリンソナタ第1番 a moi Op.105 第2楽章について。

事前学習	当たっている学生が練習合わせをするのは勿論、他の学生もシューマン、ヴァイオリンソナタ第1番 a moi Op.105 第2楽章について考えてくること。	時間	45分
事後学習	授業の内容を理解すること。	時間	45分

4.シューマン、ヴァイオリンソナタ第1番 a moi Op.105 第3楽章について。

事前学習	当たっている学生が練習合わせをするのは勿論、他の学生もシューマン、ヴァイオリンソナタ第1番 a moi Op.105 第3楽章について考えてくること。	時間	45分
事後学習	授業の内容を理解すること。	時間	45分

5.ブラームス、ヴァイオリン・ソナタ第2番イ長調作品100第1楽章の分析と演奏。

事前学習	当たっている学生が練習合わせをするのは勿論、他の学生もブラームス、ヴァイオリン・ソナタ第2番イ長調作品100第1楽章について考えてくること。	時間	45分
事後学習	授業の内容を理解すること。	時間	45分

6.ブラームス、ヴァイオリン・ソナタ第2番イ長調作品100第2楽章の分析と演奏。

事前学習	当たっている学生が練習合わせをするのは勿論、他の学生もブラームス、ヴァイオリン・ソナタ第2番イ長調作品100第2楽章について考えてくること。	時間	45分
事後学習	授業の内容を理解すること。	時間	45分

7.ブラームス、ヴァイオリン・ソナタ第2番イ長調作品100第3楽章の分析と演奏。

事前学習	当たっている学生が練習合わせをするのは勿論、他の学生もブラームス、ヴァイオリン・ソナタ第2番イ長調作品100第3楽章について考えてくること。	時間	45分
事後学習	授業の内容を理解すること。	時間	45分

8.和音数字について。

事前学習	和声の記号について、復習してくること。	時間	45分
事後学習	和音数字について、理解すること。	時間	45分

9.フォーレ、ピアノトリオ dmoll Op.120 第1楽章について。

事前学習	当たっている学生が練習合わせをするのは勿論、他の学生もフォーレ、ピアノトリオ dmoll Op.120 第1楽章について考えてくること。	時間	45分
事後学習	授業の内容を理解すること。	時間	45分

10.フォーレ、ピアノトリオ dmoll Op.120 第2楽章について。

事前学習	当たっている学生が練習合わせをするのは勿論、他の学生もフォーレ、ピアノトリオ dmoll Op.120 第2楽章について考えてくること。	時間	45分
事後学習	授業の内容を理解すること。	時間	45分

11.フォーレ、ピアノトリオ dmoll Op.120 第3楽章について。

事前学習	当たっている学生が練習合わせをするのは勿論、他の学生もフォーレ、ピアノトリオ dmoll Op.120 第3楽章について考えてくること。	時間	45分
事後学習	授業の内容を理解すること。	時間	45分

12.ドビュッシー、ヴァイオリンソナタ第1楽章について。

事前学習	当たっている学生が練習合わせをするのは勿論、他の学生もドビュッシー、ヴァイオリンソナタ第1楽章について考えてくること。	時間	45分
事後学習	授業の内容を理解すること。	時間	45分

13.ドビュッシー、ヴァイオリンソナタ第2楽章について。

事前学習	当たっている学生が練習合わせをするのは勿論、他の学生もドビュッシー、ヴァイオリンソナタ第2楽章について考えてくること。	時間	45分
事後学習	授業の内容を理解すること。	時間	45分

14.ドビュッシーの和声について

事前学習	和声の記号、和音数字を復習すること。	時間	45 分
事後学習	授業の内容を理解すること。	時間	45 分

15.ドビュッシー、ヴァイオリンソナタ第3楽章について。

授業のまとめ。

事前学習	当たっている学生が練習合わせをするのは勿論、他の学生もドビュッシー、ヴァイオリンソナタ第3楽章について考えてくること。	時間	45 分
事後学習	授業の内容を理解すること。 1年間授業した内容を復習すること。	時間	45 分

【オフィスアワー】

水曜4限後、調布教員室

【教材】

適宜に資料を配ることもあるが、名曲ばかりなので、楽譜は各自用意すること。

【その他】

当たった学生に分析、演奏をしてもらうため、授業開始時間の30分前からは教員室で待機している、皆さんに配る資料等をコピーします。

博士総合演習 B(a)(前期),(b)(後期)					
担当教員		佐藤 岳晶 講師 渡辺 裕紀子 講師		曜日時限	金 4 時限
実施キャンパス	調布	単位	各 1 単位	対象年次	博士 1 年～

【授業の概要】

前期:<音、身体、異文化のエクリチュール>

自らとは異なるエクリチュール・技法を有する他者の表現世界との出会いがもたらすものについて、音、言葉、身体の観点から考える。特に西洋音楽を専門とする者が、他の表現領域や非西洋音楽・文化(本講座では主に日本の伝統芸能を扱う)と出会い、そこから触発されるものについて検討する。異文化理解や領域横断についての先行研究・事例と問題系を押さえつつ、表現という総合的視座から、思考・感性を開いていくワークショップを展開する。

後期:本授業では主に20世紀から21世紀以降の音楽について、音楽家が非西洋文化圏の文化をどのように捉え、それを作品に反映させてきたのか作品に触れながら思考していく。グローバル化する世界の中で音楽は刻々と変化している。世界各地で生まれる音楽は常に社会から影響を受けており、その概念も文脈により異なる。過去の作品を弾く上でも、また新しい

作品に触れる上でも、多様な視点で音楽を捉える力はこれからの時代に生きる音楽家として重要なことである。異なる文化感の摩擦が世界中で起きている今、多様性について音楽家として何をどう考えて提示していくべきか、実際に最終授業では自身が関わるコンサートのプログラムを考え、プレゼンテーションしてもらう。

【到達目標】

前期:他者の文化について関心を高め、関連する先行研究や問題系を踏まえた議論ができるようになる。異文化に開かれた複眼的視野から、自らの思考・表現を相対化し、活性化していけるようになる。

後期:異なる文化や文脈を持つ作品の背景について学び、多様な視点で音楽をとらえる想像力を身につける。音楽家として生きていく上で、その作品を作曲したり演奏したりする意味や、何かを選択することでどのように見られたり、人に感じさせる可能性があるのか、深く考えることができるようになる。また自らが音楽家として何を大事にしていきたいのか、主体的に考え、言語化できるようになる。

【履修資格/履修に必要な予備知識や技能】

修士課程 1、2 年生。

【授業の形式】

演習(対面)

【成績評価の要点①】

試験	提出課題・作品発表等	受講姿勢
	60%	40%

【成績評価の要点②】

成績評価は、上記の項目についてそれぞれの配分で総合的に判断し、A, B, C, D で評価する。

【課題に対するフィードバックの方法】

授業時にフィードバックする。

【授業展開と内容-前期】

1.ガイダンス・導入:他者の言葉・身体・世界に触発される「音楽」

事前学習	任意の日本の伝統芸能に触れる(映像等でも良い)。	時間	60 分
事後学習	授業内容の振り返り	時間	30 分

2.グローバル／ローカルの視座から「普遍」について考える

事前学習	前回の授業内容の復習	時間	30 分
事後学習	授業内容の振り返り	時間	60 分

3.他者の言葉と出会う① 言語の多様性をめぐって

事前学習	前回の授業内容の復習	時間	30 分
事後学習	授業内容の振り返り	時間	60 分

4.他者の言葉と出会う②ローカル言語の表象と言語の創造:石牟礼道子『苦海浄土』を読む

事前学習	前回の授業内容の復習	時間	30 分
事後学習	授業内容の振り返り	時間	60 分

5.他者の言葉と出会う③ポストコロニアル文学の世界:クレオールと非西欧世界の言語表象

事前学習	前回の授業内容の復習	時間	30 分
事後学習	授業内容の振り返り	時間	60 分

6.他者の言葉と出会う④ディアスポラの言葉:言語の他者性

事前学習	前回の授業内容の復習	時間	30 分
事後学習	授業内容の振り返り	時間	60 分

7.他者の世界と出会う①カルチュラル・スタディーズ、ポストコロニアリズムの探求

事前学習	前回の授業内容の復習	時間	30 分
事後学習	授業内容の振り返り	時間	60 分

8.他者の世界と出会う②鶴見和子の「曼荼羅」の思想と内発的発展論

事前学習	前回の授業内容の復習	時間	30 分
事後学習	授業内容の振り返り	時間	60 分

9.他者の音楽と出会う①近世邦楽の世界:「コンテキスト」からのアプローチ

事前学習	前回の授業内容の復習	時間	30 分
事後学習	授業内容の振り返り	時間	60 分

10.他者の世界と出会う②近世邦楽の世界:「テキスト」へのアプローチ

事前学習	前回の授業内容の復習	時間	30 分
事後学習	授業内容の振り返り	時間	60 分

11.他者の世界と出会う③近世邦楽の世界:演奏・伝承の実例

事前学習	前回の授業内容の復習	時間	30 分
事後学習	授業内容の振り返り	時間	60 分

12.他者の身体と出会う①日本の伝統芸能の身体表現 概説

事前学習	前回の授業内容の復習	時間	30 分
事後学習	授業内容の振り返り	時間	60 分

13.他者の身体と出会う②日本の伝統芸能の身体表現 現代の舞台芸術への継承・応用

事前学習	前回の授業内容の復習	時間	30 分
事後学習	授業内容の振り返り	時間	60 分

14.触発し合う他者の表現①異なる音楽言語共存の探求

事前学習	前回の授業内容の復習	時間	30 分
事後学習	授業内容の振り返り	時間	60 分

15.触発し合う他者の表現②言葉／身体と音楽の出合いがもたらすもの

事前学習	前回の授業内容の復習	時間	30 分
事後学習	授業内容の振り返り	時間	60 分

【授業展開と内容-後期】

1.< 西洋からアジア、アジアから見た西洋、その中にある共通点や違いを知る >

モーリス・ドラージュ、ヘンリー・カウエル等の作品①

事前学習	演習作品の視聴	時間	45 分
事後学習	扱った作曲家や周辺の作品の復習	時間	45 分

2.< 西洋からアジア、アジアから見た西洋、その中にある共通点や違いを知る >

モーリス・ドラージュ、ヘンリー・カウエル等の作品②

事前学習	演習作品の視聴	時間	45 分
事後学習	扱った作曲家や周辺の作品の復習	時間	45 分

3.< 西洋からアジア、アジアから見た西洋、その中にある共通点や違いを知る >

武満徹の作品など①

事前学習	演習作品の視聴	時間	45 分
事後学習	扱った作曲家や周辺の作品の復習	時間	45 分

4.< 西洋からアジア、アジアから見た西洋、その中にある共通点や違いを知る >

武満徹の作品など②

事前学習	演習作品の視聴	時間	45 分
事後学習	扱った作曲家や周辺の作品の復習	時間	45 分

5.< 隣国の音楽、韓国や中国の音楽と楽器 >

イサン・ユンの音楽など

事前学習	演習作品の視聴	時間	45 分
事後学習	扱った作曲家や周辺の作品の復習	時間	45 分

6.< 隣国の音楽、韓国や中国の音楽と楽器 >

ウン・スクチンの音楽など

事前学習	演習作品の視聴	時間	45 分
事後学習	扱った作曲家や周辺の作品の復習	時間	45 分

7.< 東南アジアの新しい音楽、伝統と革新の関係 >

1970 年以降のフィリピンの音楽①

事前学習	演習作品の視聴	時間	45 分
事後学習	扱った作曲家や周辺の作品の復習	時間	45 分

8.< 東南アジアの新しい音楽、伝統と革新の関係 >

1970 年以降のフィリピンの音楽②

事前学習	演習作品の視聴	時間	45 分
事後学習	扱った作曲家や周辺の作品の復習	時間	45 分

9.<社会と音楽の関係、現代社会問題やポリティクスを含む音楽>

ヨハネス・クライドラー等の作品など①

事前学習	演習作品の視聴	時間	45 分
事後学習	扱った作曲家や周辺の作品の復習	時間	45 分

10.<社会と音楽の関係、現代社会問題やポリティクスを含む音楽>

ヨハネス・クライドラー等の作品など②

事前学習	演習作品の視聴	時間	45 分
事後学習	扱った作曲家や周辺の作品の復習	時間	45 分

11.<女性作曲家を知る>①

事前学習	演習作品の視聴	時間	45 分
事後学習	扱った作曲家や周辺の作品の復習	時間	45 分

12.<女性作曲家を知る>②

事前学習	演習作品の視聴	時間	45 分
事後学習	扱った作曲家や周辺の作品の復習	時間	45 分

13.<コンサートプログラムを考えるためのディスカッション> ※もしくは学生が多い場合は、予備として<発表①>とする。

事前学習	演習作品の視聴	時間	45 分
事後学習	扱った作曲家や周辺の作品の復習	時間	45 分

14.<発表>

事前学習	演習作品の視聴	時間	45 分
事後学習	扱った作曲家や周辺の作品の復習	時間	45 分

15.<発表>

事前学習	演習作品の視聴	時間	45 分
事後学習	扱った作曲家や周辺の作品の復習	時間	45 分

【オフィスアワー】

金曜日 5限後 調布教員室

【テキスト】

【教材】

授業時に指示

博士総合演習 C(a)(前期),(b)(後期)					
担当教員 後藤 菜穂子 講師			曜日時限		火 2 時限
実施キャンパス 調布	単位	各 1 単位		対象年次	博士 1 年～

【授業の概要】

Semester I: Operas inspired by Literary Masterpieces / Semester II: The Operas of Mozart and the Portrayal of Female Characters.

In this seminar-style course, we will focus on operas inspired by literary masterpieces (Semester I), and Mozart's portrayal of women in his operas (Semester II). In Semester I, we will consider how composers and librettists adapted these literary works and how these operas were received by the public (Semester I), and in Semester II we will examine Mozart's operas with special focus on the female characters, from the perspectives of his time and today.

Students will be required to give presentations during the course.

【到達目標】

After completing this course, you should be able to think critically about an opera and its significance at the time as well as the present.

【履修資格/履修に必要な予備知識や技能】

This course is intended for postgraduate students.

【授業の形式】

Seminar style.

The participants will give presentations and take active part in discussions.

【成績評価の要点①】

試験	提出課題・作品発表等	受講姿勢
	50%	50%

【成績評価の要点②】

Grades of A, B, C, D will be given according to the above criteria.

Attendance requirement: at least 10 out of 15 classes. Attendance of online class by submission of assignment.

【課題に対するフィードバックの方法】

Feedback will be given individually on request.

【授業展開と内容-前期】

1.Introduction: Overview and Examination of the relevant literature

事前学習	Check out the operas discussed this semester.	時間	45 分
事後学習	Revision	時間	45 分

2.Presentation (lecturer)

Donizetti: Lucia di Lammermoor (Walter Scott)

事前学習	Watch the opera beforehand.	時間	45 分
事後学習	Revision	時間	45 分

3.Presentation (student)

Rossini: Guillaume Tell (Schiller)

事前学習	Watch the opera beforehand.	時間	45 分
事後学習	Revision	時間	45 分

4.Presentation (student)

Donizetti: Maria Stuarda (Schiller)

事前学習	Watch the opera beforehand.	時間	45 分
事後学習	Revision	時間	45 分

5.Presentation (student)

Verdi: La Traviata (Alexandre Dumas fils)

事前学習	Watch the opera beforehand.	時間	45 分
事後学習	Revision	時間	45 分

6.Presentation (student)

Verdi: Don Carlo (Schiller)

事前学習	Watch the opera beforehand.	時間	45 分
事後学習	Revision	時間	45 分

7.Presentation (student)

Gounod: Faust (Goethe)

事前学習	Watch the opera beforehand.	時間	45 分
事後学習	Revision	時間	45 分

8.Presentation (student)

Bizet: Carmen (Mérimée)

事前学習	Watch the opera beforehand.	時間	45 分
事後学習	Revision	時間	45 分

9.Presentation (student)

Tchaikovsky: Eugene Onegin (Pushkin)

事前学習	Watch the opera beforehand.	時間	45 分
事後学習	Revision	時間	45 分

10.Presentation (student)

Massenet: Werther (Goethe)

事前学習	Watch the opera beforehand.	時間	45 分
事後学習	Revision	時間	45 分

11.Presentation (student)

R. Strauss: Salome (Oscar Wilde)

事前学習	Watch the opera beforehand.	時間	45 分
事後学習	Revision	時間	45 分

12.Presentation (student)

Korngold: Die tote Stadt (Rodenbach)

事前学習	Watch the opera beforehand.	時間	45 分
事後学習	Revision	時間	45 分

13.Assignment (online)

事前学習	Assignment	時間	45 分
事後学習	Assignment	時間	45 分

14.Presentation (guest speaker)

Debussy: Pelléas et Mélisande (Maeterlinck)

事前学習	Watch the opera beforehand.	時間	45 分
事後学習	Revision	時間	45 分

15.Summary and Discussion

事前学習	Review the semester	時間	45 分
事後学習	Revision	時間	45 分

【授業展開と内容-後期】

1.Introduction: Overview and Examination of the relevant literature

事前学習	Think about Mozart's operas you know and about how the female characters are portrayed.	時間	45 分
事後学習	Revision	時間	45 分

2.Presentation (lecturer)

Female Characters in Mozart's operas

事前学習	Watch the opera beforehand.	時間	45 分
事後学習	Revision	時間	45 分

3.Presentation (student)

Bastien und Bastienne

事前学習	Watch the opera beforehand.	時間	45 分
事後学習	Revision	時間	45 分

4.Presentation (student)

Mitridate, re di Ponto

事前学習	Watch the opera beforehand	時間	45 分
事後学習	Revision	時間	45 分

5.Presentation (student)

La finta giardiniera

事前学習	Watch the opera beforehand.	時間	45 分
事後学習	Revision	時間	45 分

6.Presentation (student)

Il re pastore

事前学習	Watch the opera beforehand.	時間	45 分
事後学習	Revision	時間	45 分

7.Presentation (student)

Idomeneo

事前学習	Watch the opera beforehand.	時間	45 分
事後学習	Revision	時間	45 分

8.Presentation (student)

Die Entführung aus dem Serail

事前学習	Watch the opera beforehand.	時間	45 分
事後学習	Revision	時間	45 分

9.Presentation (student)

Le nozze di Figaro

事前学習	Watch the opera beforehand.	時間	45 分
事後学習	Revision	時間	45 分

10.Presentation (student)

Don Giovanni

事前学習	Watch the opera beforehand.	時間	45 分
事後学習	Revision	時間	45 分

11.Presentation (student)

Così fan tutte

事前学習	Watch the opera beforehand.	時間	45 分
事後学習	Revision	時間	45 分

12.Presentation (student)

La Clemenza di Tito

事前学習	Watch the opera beforehand.	時間	45 分
事後学習	Revision	時間	45 分

13.Assignment (online)

事前学習	Assignment	時間	45 分
事後学習	Assignment	時間	45 分

14.Presentation (student)

Die Zauberflöte

事前学習	Watch the opera beforehand.	時間	45 分
事後学習	Revision	時間	45 分

15.Summary and Discussion

事前学習	Review the semester	時間	45 分
事後学習	Revision	時間	45 分

【オフィスアワー】

Office hour after class.

【教材】

I will indicate the reading list at the beginning of each semester.

博士総合演習 D(a)(前期),(b)(後期)					
担当教員 安田 和信 准教授			曜日時限		水 4 時限
実施キャンパス	調布	単位	各 1 単位	対象年次	博士 1 年～

【授業の概要】

18 世紀中期から 19 世紀初期にかけての音楽の形式分析、特に William Caplin など近年の英米圏の理論を習得することを目的とする。分析対象は J.Haydn、W.A.モーツァルト、L.v.ベートーヴェンの作品とする。形式分析のみならず、音楽に関わる分析には最終的には主観を免れない部分があるとはいえ、多くの現代の研究者たちが援用している分析理論にはやはりある程度の精度や客観性が認められ、その習得を通じて音楽について書き、語る際の客観性を身につけて欲しい。

前期では主に sentence、period、small-ternary のような比較的小規模なフレーズの分析、後期ではソナタ形式楽章の分析を扱う。後期の議論は前期が前提になっているため、後期受講希望者は前期の履修を勧める。

授業の流れは前期・後期ともに以下のようにする予定である。

最初の数回は教員による説明を通じて、理論の骨格、分析のための用語などを習得する。

その後は各回につき数名(受講者の人数による)が分析のプレゼンテーションを行う。

どの回においても発表者や教員だけでなく履修者全員が活発に意見交換、議論を行い、優れた音楽の書き手、語り手を養成する場としても機能するように努めていきたい。

この授業の対象とする時期は限定的ではあるが、紹介する理論は特に 19 世紀初期以降の音楽にも十分応用が可能であり、特に形式分析について関心を持つ学生の受講を歓迎する。

【到達目標】

18 世紀中期から 19 世紀初期にかけて音楽を対象とした形式分析の理論を習得し、客観的な分析記述ができるようになる。

【履修資格/履修に必要な予備知識や技能】

積極的に議論をしたい人を歓迎する。

【授業の形式】

演習

【成績評価の要点①】

試験	提出課題・作品発表等	受講姿勢
	70%	30%

【成績評価の要点②】

成績評価は、上記の項目についてそれぞれの配分で総合的に判断し、A, B, C, D で評価する。

【課題に対するフィードバックの方法】

次回授業時にフィードバックする。

【授業展開と内容-前期】

1. イントロダクションおよび教員による基本用語の紹介

事前学習	classroom で配布した資料を読んでおくこと	時間	45 分
事後学習	授業内容の復習	時間	45 分

2. 教員による分析のプレゼンテーションとディスカッション

事前学習	classroom で配布した資料を読んでおくこと	時間	45 分
事後学習	授業内容の復習	時間	45 分

3. 履修者による分析のプレゼンテーションとディスカッション1

事前学習	classroom で配布した資料を読んでおくこと	時間	45 分
事後学習	授業内容の復習	時間	45 分

4. 履修者による分析のプレゼンテーションとディスカッション2

事前学習	classroom で配布した資料を読んでおくこと	時間	45 分
事後学習	授業内容の復習	時間	45 分

5. 履修者による分析のプレゼンテーションとディスカッション3

事前学習	classroom で配布した資料を読んでおくこと	時間	45 分
事後学習	授業内容の復習	時間	45 分

6. 履修者による分析のプレゼンテーションとディスカッション4

事前学習	classroom で配布した資料を読んでおくこと	時間	45 分
事後学習	授業内容の復習	時間	45 分

7. 履修者による分析のプレゼンテーションとディスカッション5

事前学習	classroom で配布した資料を読んでおくこと	時間	45 分
事後学習	授業内容の復習	時間	45 分

8. 履修者による分析のプレゼンテーションとディスカッション6

事前学習	classroom で配布した資料を読んでおくこと	時間	45 分
事後学習	授業内容の復習	時間	45 分

9. 履修者による分析のプレゼンテーションとディスカッション7

事前学習	classroom で配布した資料を読んでおくこと	時間	45 分
事後学習	授業内容の復習	時間	45 分

10. 履修者による分析のプレゼンテーションとディスカッション8

事前学習	classroom で配布した資料を読んでおくこと	時間	45 分
事後学習	授業内容の復習	時間	45 分

11.履修者による分析のプレゼンテーションとディスカッション9

事前学習	classroom で配布した資料を読んでおくこと	時間	45 分
事後学習	授業内容の復習	時間	45 分

12.履修者による分析のプレゼンテーションとディスカッション 10

事前学習	classroom で配布した資料を読んでおくこと	時間	45 分
事後学習	授業内容の復習	時間	45 分

13.履修者による分析のプレゼンテーションとディスカッション 11

事前学習	classroom で配布した資料を読んでおくこと	時間	45 分
事後学習	授業内容の復習	時間	45 分

14.履修者による分析のプレゼンテーションとディスカッション 12

事前学習	classroom で配布した資料を読んでおくこと	時間	45 分
事後学習	授業内容の復習	時間	45 分

15.まとめ

事前学習	classroom で配布した資料を読んでおくこと	時間	45 分
事後学習	授業内容の復習	時間	45 分

【授業展開と内容-後期】

1.イントロダクションおよび前期の振り返り

事前学習	classroom で配布した資料を読んでおくこと	時間	45 分
事後学習	授業内容の復習	時間	45 分

2.教員による分析のプレゼンテーションとディスカッション

事前学習	classroom で配布した資料を読んでおくこと	時間	45 分
事後学習	授業内容の復習	時間	45 分

3.履修者による分析のプレゼンテーションとディスカッション1

事前学習	classroom で配布した資料を読んでおくこと	時間	45 分
事後学習	授業内容の復習	時間	45 分

4.履修者による分析のプレゼンテーションとディスカッション2

事前学習	classroom で配布した資料を読んでおくこと	時間	45 分
事後学習	授業内容の復習	時間	45 分

5.履修者による分析のプレゼンテーションとディスカッション3

事前学習	classroom で配布した資料を読んでおくこと	時間	45 分
事後学習	授業内容の復習	時間	45 分

6.履修者による分析のプレゼンテーションとディスカッション4

事前学習	classroom で配布した資料を読んでおくこと	時間	45 分
事後学習	授業内容の復習	時間	45 分

7.履修者による分析のプレゼンテーションとディスカッション5

事前学習	classroom で配布した資料を読んでおくこと	時間	45 分
事後学習	授業内容の復習	時間	45 分

8.履修者による分析のプレゼンテーションとディスカッション6

事前学習	classroom で配布した資料を読んでおくこと	時間	45 分
事後学習	授業内容の復習	時間	45 分

9.履修者による分析のプレゼンテーションとディスカッション7

事前学習	classroom で配布した資料を読んでおくこと	時間	45 分
事後学習	授業内容の復習	時間	45 分

10.履修者による分析のプレゼンテーションとディスカッション8

事前学習	classroom で配布した資料を読んでおくこと	時間	45 分
事後学習	授業内容の復習	時間	45 分

11.履修者による分析のプレゼンテーションとディスカッション9

事前学習	classroom で配布した資料を読んでおくこと	時間	45 分
事後学習	授業内容の復習	時間	45 分

12.履修者による分析のプレゼンテーションとディスカッション 10

事前学習	classroom で配布した資料を読んでおくこと	時間	45 分
事後学習	授業内容の復習	時間	45 分

13.履修者による分析のプレゼンテーションとディスカッション 11

事前学習	classroom で配布した資料を読んでおくこと	時間	45 分
事後学習	授業内容の復習	時間	45 分

14.履修者による分析のプレゼンテーションとディスカッション 12

事前学習	classroom で配布した資料を読んでおくこと	時間	45 分
事後学習	授業内容の復習	時間	45 分

15.まとめ

事前学習	classroom で配布した資料を読んでおくこと	時間	45 分
事後学習	授業内容の復習	時間	45 分

【オフィスアワー】

水曜日 5 限後に時間を確保します。

博士総合演習[音楽文化研究](a)(前期)		
担当教員	友利 修 特任教授	曜日時限
		火 5 時限

実施キャンパス	調布	単位	1 単位	対象年次	博士 1 年～
---------	----	----	------	------	---------

【授業の概要】

「新しい音楽学」の大きな流れに随伴し 1980 年代から復権した、音楽記号学、トピック論、叙述理論・物語論、間テキスト論、解釈学的アプローチなどの名の下に遂行された音楽作品の「意味」への分析的アプローチを、具体的な先行研究の例とともに理解し、現在までのその発展について知る。

【到達目標】

音楽学の諸分野とその研究動向を幅広く理解するための学習の一環とし、特に最新の研究動向についての概観を得ながら、具体的な手法を学び、それらが自らの研究で応用できるようになる

【履修資格/履修に必要な予備知識や技能】

西洋音楽史についての基礎知識、楽譜を用いた分析の基礎的態度。多用な楽曲に感性の開かれた耳。

【授業の形式】

講義内容に基いて、積極的なディスカッションへの参加を求めます。

【成績評価の要点①】

試験	提出課題・作品発表等	受講姿勢
	50%	50%

【成績評価の要点②】

成績評価は、上記の項目に基づき A, B, C, D で評価する次回授業時にフィードバックする。

学年末試験／学年末レポートについては Classroom に講評を掲載する。

【課題に対するフィードバックの方法】

次回授業時にフィードバックする。

学年末試験／学年末レポートについては Classroom に講評を掲載する。

【授業展開と内容-前期】

1.「音楽の意味」への分析的アプローチ: 1980 年代の転換 1 形式主義から意味への問いへ

事前学習	音楽の分析とは何か、音楽分析に求められるものについての考えを、自分のこれまでの具体的な経験とともに整理し、授業内で簡単に発表できるように、準備しておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業内で配布した研究者らの著作、論文からのレジュメを、扱われた楽曲を参	時間	45 分

	照しながら、丁寧に復習すること。		
--	------------------	--	--

2.「音楽の意味」への分析的アプローチ: 1980年代の転換 2 記号論的アプローチの独立

事前学習	前回の授業内で予告した論文および楽曲の楽譜、音源に馴染んでおくこと。	時間	45 分
事後学習	授業内で配布した研究者らの著作、論文からのレジュメを、扱われた楽曲を参照しながら、丁寧に復習すること。	時間	45 分

3.音楽に意味を聴く手がかり: トピック論をめぐって 1 — 発展の概観と主要著作

事前学習	前回の授業内で予告した論文および楽曲の楽譜、音源に馴染んでおくこと。	時間	45 分
事後学習	授業内で配布した研究者らの著作、論文からのレジュメを、扱われた楽曲を参照しながら、丁寧に復習すること。	時間	45 分

4.音楽に意味を聴く手がかり: トピック論をめぐって 2 — 分析へのいくつかの応用例を通して効用と問題点をかいま見る

事前学習	前回の授業内で予告した論文および楽曲の楽譜、音源に馴染んでおくこと。	時間	45 分
事後学習	授業内で配布した研究者らの著作、論文からのレジュメを、扱われた楽曲を参照しながら、丁寧に復習すること。	時間	45 分

5.音楽に意味を聴く手がかり: トピック論をめぐって 3 — トピック論の基礎づけと理論的展開。Monelle と Hatten

事前学習	前回の授業内で予告した論文および楽曲の楽譜、音源に馴染んでおくこと。	時間	45 分
事後学習	授業内で配布した研究者らの著作、論文からのレジュメを、扱われた楽曲を参照しながら、丁寧に復習すること。	時間	45 分

6.音楽形式に意味を聞く: ナラティヴィティ論をめぐって 1 — ドラマとしてのソナタ形式論から「物語性」の型の意識へ

事前学習	前回の授業内で予告した論文および楽曲の楽譜、音源に馴染んでおくこと。	時間	45 分
事後学習	授業内で配布した研究者らの著作、論文からのレジュメを、扱われた楽曲を参照しながら、丁寧に復習すること。	時間	45 分

7.音楽形式に意味を聞く: ナラティヴィティ論をめぐって 2 — 「ドラマ」から「物語性」の型の認識の確立へ

事前学習	前回の授業内で予告した論文および楽曲の楽譜、音源に馴染んでおくこと。	時間	45 分
事後学習	授業内で配布した研究者らの著作、論文からのレジュメを、扱われた楽曲を参照しながら、丁寧に復習すること。	時間	45 分

8.ナラティヴィティ論をめぐって 3 — ナラティヴィティの認識からナラトロジーの方法論(のカオス)へ

事前学習	前回の授業内で予告した論文および楽曲の楽譜、音源に馴染んでおくこと。	時間	45 分
事後学習	授業内で配布した研究者らの著作、論文からのレジュメを、扱われた楽曲を参照しながら、丁寧に復習すること。	時間	45 分

9.ナラティヴィティ論をめぐって 4 — 古典的論文の紹介 Tarasti

事前学習	前回の授業内で予告した論文および楽曲の楽譜、音源に馴染んでおくこと。	時間	45 分
事後学習	授業内で配布した研究者らの著作、論文からのレジュメを、扱われた楽曲を参照しながら、丁寧に復習すること。	時間	45 分

10.「外部」と間テキスト性 1 — 音楽における間テキスト性の概念、先行研究事例の概観

事前学習	前回の授業内で予告した論文および楽曲の楽譜、音源に馴染んでおくこと。	時間	45 分
事後学習	授業内で配布した研究者らの著作、論文からのレジュメを、扱われた楽曲を参	時間	45 分

	照しながら、丁寧に復習すること。		
--	------------------	--	--

11.「外部」と間テキスト性 2 — 間テキスト性を通した外部と内部への問い

事前学習	前回の授業内で予告した論文および楽曲の楽譜、音源に馴染んでおくこと。	時間	45 分
事後学習	授業内で配布した研究者らの著作、論文からのレジュメを、扱われた楽曲を参照しながら、丁寧に復習すること。	時間	45 分

12.音楽に織り込まれる「外部」：自然、生、性、社会あるいは解釈学 — Kramer, Kramer, Kramer、シューベルトのセクシュアリティについての議論が開いたもの

事前学習	前回の授業内で予告した論文および楽曲の楽譜、音源に馴染んでおくこと。	時間	45 分
事後学習	授業内で配布した研究者らの著作、論文からのレジュメを、扱われた楽曲を参照しながら、丁寧に復習すること。	時間	45 分

13.総合的事例研究—リスト《巡礼の年 第1年 スイス》を例に

事前学習	前回の授業内で予告した論文および楽曲の楽譜、音源に馴染んでおくこと。	時間	45 分
事後学習	授業内で配布した研究者らの著作、論文からのレジュメを、扱われた楽曲を参照しながら、丁寧に復習すること。	時間	45 分

14.総合的事例研究—Madonna

事前学習	前回の授業内で予告した論文および楽曲の楽譜、音源に馴染んでおくこと。	時間	45 分
事後学習	授業内で配布した研究者らの著作、論文からのレジュメを、扱われた楽曲を参照しながら、丁寧に復習すること。	時間	45 分

15.全体のまとめと今後への展望

事前学習	前回の授業内で予告した論文および楽曲の楽譜、音源に馴染んでおくこと。	時間	45 分
事後学習	授業内で配布した研究者らの著作、論文からのレジュメを、扱われた楽曲を参照しながら、丁寧に復習すること。	時間	45 分

【オフィスアワー】

火曜日、調布教室にて授業前後に時間を確保します。

【その他】

教材は Google Classroom にて適宜アップロード、指定する。

博士総合演習[音楽文化研究](b)(後期)					
担当教員	友利 修 特任教授		曜日時限	火 5 時限	
実施キャンパス	調布	単位	1 単位	対象年次	博士 1 年～

【授業の概要】

「新しい音楽学」の大きな流れに随伴し 1980 年代から復権した、音楽記号学、トピック論、叙述理論・物語論、間テキスト論、解釈学的アプローチなどの名の下に遂行された音楽作品の「意味」への分析的アプローチを、具体的な先行研究の例とともに理解し、現在までのその発展について知る。後期は前期の基礎的内容を Text - Intertext - Context という観点から整理しなおし、ジャンルをポピュラーに広げ、より詳しい具体的な楽曲の分析を先行研究とともに見ていく。

【到達目標】

音楽学の諸分野とその研究動向を幅広く理解するための学習の一環とし、特に最新の研究動向についての概観を得ながら、具体的な手法を学び、それらが自らの研究で応用できるようになる。

【履修資格/履修に必要な予備知識や技能】

西洋音楽史についての基礎知識、楽譜を用いた分析の基礎的態度。多用な楽曲に感性の開かれた耳。

【授業の形式】

講義内容に基づいて、積極的なディスカッションへの参加を求めます。

【成績評価の要点①】

試験	提出課題・作品発表等	受講姿勢
	50%	50%

【成績評価の要点②】

成績評価は、上記の項目に基づき A, B, C, D で評価する

【課題に対するフィードバックの方法】

次回授業時にフィードバックする。

学年末試験／学年末レポートについては Classroom に講評を掲載する。

【授業展開と内容-後期】

1.音楽の理解における Text - Intertext - Context

事前学習	前期からの受講者は前期の内容を復習しておくこと。後期からの受講者は事前にアップロードする前期内容のレジュメを熟読し、後期の分析に用いられる基礎的知識を得ておくこと。	時間	
事後学習	授業内で配布した研究者らの著作、論文からのレジュメを、扱われた楽曲を参照しながら、丁寧に復習すること。	時間	

2.Abba 《Fernando》(Philip Tagg の分析によりながら) 1

事前学習	前回の授業内で予告した論文および楽曲の楽譜、音源に馴染んでおくこと。	時間	
事後学習	授業内で配布した研究者らの著作、論文からのレジュメを、扱われた楽曲を参照しながら、丁寧に復習すること。	時間	

3.Abba 《Fernando》(Philip Tagg の分析によりながら) 2

事前学習	前回の授業内で予告した論文および楽曲の楽譜、音源に馴染んでおくこと。	時間	
事後学習	授業内で配布した研究者らの著作、論文からのレジュメを、扱われた楽曲を参照しながら、丁寧に復習すること。	時間	

4.Abba 《Fernando》(Philip Tagg の分析によりながら) 3

事前学習	前回の授業内で予告した論文および楽曲の楽譜、音源に馴染んでおくこと。	時間	
事後学習	授業内で配布した研究者らの著作、論文からのレジュメを、扱われた楽曲を参照しながら、丁寧に復習すること。	時間	

5.Abba 《Fernando》(Philip Tagg の分析によりながら) 4

事前学習	前回の授業内で予告した論文および楽曲の楽譜、音源に馴染んでおくこと。	時間	
事後学習	授業内で配布した研究者らの著作、論文からのレジュメを、扱われた楽曲を参照しながら、丁寧に復習すること。	時間	

6.Madonna《Lucky Star – Hung Up: From the Confession Tour 2006》 1

事前学習	前回の授業内で予告した論文および楽曲の楽譜、音源に馴染んでおくこと。	時間	
事後学習	授業内で配布した研究者らの著作、論文からのレジュメを、扱われた楽曲を参照しながら、丁寧に復習すること。	時間	

7.Madonna《Lucky Star – Hung Up: From the Confession Tour 2006》 2

事前学習	前回の授業内で予告した論文および楽曲の楽譜、音源に馴染んでおくこと。	時間	
事後学習	授業内で配布した研究者らの著作、論文からのレジュメを、扱われた楽曲を参照しながら、丁寧に復習すること。	時間	

8.パラテキスト論と音楽 1 Gérard Genette のパラテキスト 論

事前学習	前回の授業内で予告した論文および楽曲の楽譜、音源に馴染んでおくこと。	時間	
事後学習	授業内で配布した研究者らの著作、論文からのレジュメを、扱われた楽曲を参照しながら、丁寧に復習すること。	時間	

9.パラテキスト論と音楽 1 音楽におけるパラテキストの広がり

事前学習	前回の授業内で予告した論文および楽曲の楽譜、音源に馴染んでおくこと。	時間	
事後学習	授業内で配布した研究者らの著作、論文からのレジュメを、扱われた楽曲を参照しながら、丁寧に復習すること。	時間	

10.リスト《巡礼の年 第1年 スイス》1

事前学習	前回の授業内で予告した論文および楽曲の楽譜、音源に馴染んでおくこと。	時間	
事後学習	授業内で配布した研究者らの著作、論文からのレジュメを、扱われた楽曲を参照しながら、丁寧に復習すること。	時間	

11.リスト《巡礼の年 第1年 スイス》2

事前学習	前回の授業内で予告した論文および楽曲の楽譜、音源に馴染んでおくこと。	時間	
事後学習	授業内で配布した研究者らの著作、論文からのレジュメを、扱われた楽曲を参照しながら、丁寧に復習すること。	時間	

12.リスト《巡礼の年 第1年 スイス》3

事前学習	前回の授業内で予告した論文および楽曲の楽譜、音源に馴染んでおくこと。	時間	
事後学習	授業内で配布した研究者らの著作、論文からのレジュメを、扱われた楽曲を参照しながら、丁寧に復習すること。	時間	

13.リスト《巡礼の年 第1年 スイス》4

事前学習	前回の授業内で予告した論文および楽曲の楽譜、音源に馴染んでおくこと。	時間	
事後学習	授業内で配布した研究者らの著作、論文からのレジュメを、扱われた楽曲を参照しながら、丁寧に復習すること。	時間	

14.リスト《巡礼の年 第1年 スイス》5

事前学習	前回の授業内で予告した論文および楽曲の楽譜、音源に馴染んでおくこと。	時間	
事後学習	授業内で配布した研究者らの著作、論文からのレジュメを、扱われた楽曲を参照しながら、丁寧に復習すること。	時間	

15.全体のまとめと今後への展望

事前学習	前回の授業内で予告した論文および楽曲の楽譜、音源に馴染んでおくこと。	時間	
事後学習	授業内で配布した研究者らの著作、論文からのレジュメを、扱われた楽曲を参照しながら、丁寧に復習すること。	時間	

【オフィスアワー】

火曜日、調布教室にて授業前後に時間を確保します。

【その他】

教材は Google Classroom にて適宜アップロード、指定する。

博士総合演習[楽書原典研究](英) (a)(前期),(b)(後期)					
担当教員	上尾 信也 講師	曜日時限		水 5 時限	
実施キャンパス	調布	単位	各 1 単位	対象年次	博士 1 年～

【授業の概要】

吟遊詩人・楽師と楽器

文学史、音楽史、演劇史で各個に議論されていた中世の芸能者を分析する。特に、①文芸や音楽の創作者・技芸者として、②技芸のみならず情報の媒介者として、③近代の歴史観・芸術観では毀誉褒貶の社会的存在として、「吟遊詩人」を考察する。同時に彼らの用いた声と楽器の社会的意味についても調査、考察する

【到達目標】

・ヨーロッパ中世史に関する中世主義史観に対する考察の成果を俯瞰し読解できる。

- ・概要で提示したテーマやキーワードを通して、時間軸を超えた問題意識を提示できる。
- ・各回の授業で与えられたテーマについて、調査・検討し自らの見解を提示できる。
- ・説得力のある文章表現で与えられた課題について表現できる。

【履修資格/履修に必要な予備知識や技能】

とくになし

【授業の形式】

講義を中心に、ディスカッションと各自の調査報告をまじえて進行する

【成績評価の要点①】

試験	提出課題・作品発表等	受講姿勢
50%		50%

【成績評価の要点②】

成績評価は、上記の項目に基づき A, B, C, D で評価する。

【課題に対するフィードバックの方法】

授業時および Classroom でフィードバックする。

【授業展開と内容-前期】

1.1: 歴史学と史料ーファクト、フィクタ、ディクタ

ファクトとフィクション、文献・非文献資料と提起された歴史像の変容

事前学習	池上俊一『歴史学の作法』東京:東京大学出版会、2022 小澤 実／佐藤雄基『グローバルヒストリーのなかの近代歴史学ー歴史を捉え、書き、編む』東京:東京大学出版会、2025 といった参考文献をざっと読んでおく。	時間	60 分
事後学習	授業内容をまとめておく。不明な点や関心を持った点について調査、考察する。	時間	30 分

2.2: 歴史観と時代区分

比較史の視点／ヨーロッパの内と外／近代の問題

事前学習	ウィンストン・ブラック、大貫俊夫(監訳)『中世ヨーロッパーファクトとフィクション』平凡社、2021 岩井淳(編)『複合国家から読み解く世界史:「国民国家史観」再考』東京:山川出版社、2024 などの参考文献をざっと読む	時間	60 分
------	--	----	------

事後学習	授業内容をまとめておく。不明な点や関心を持った点について調査、考察する。	時間	30 分

3.3: 中世・中世主義とは何か

事前学習	『西洋中世文化事典』を楽しむ！！ https://newspicks.com/topics/enjoyemec/ 岩波「ヨーロッパの中世」シリーズ:特に佐藤彰一『中世世界とは何か』(ヨーロッパの中世 1)、2008;小澤実, 薩摩秀登, 林邦夫『辺境のダイナミズム』2009;堀越宏一『ものと技術の弁証法』2009;大黒俊二『声と文字』などの参考文献を読む	時間	60 分
事後学習	授業内容をまとめておく。不明な点や関心を持った点について調査、考察する。	時間	30 分

4.4: 中世主義の叙述と表現

大文字の歴史学と社会史・文化史、基盤と階層、表象と表現、絵画と音楽、主題と変奏

事前学習	参考文献などを再読する	時間	60 分
事後学習	授業内容をまとめておく。不明な点や関心を持った点について調査、考察する。	時間	30 分

5.5: 歴史の表現としての映画

映画の力、補綴的記憶、リアリズムの相克

事前学習	戦争映画について調べておく	時間	60 分
事後学習	授業内容をまとめておく。不明な点や関心を持った点について調査、考察する。	時間	30 分

6.6: 映画と中世主義

中世映画に見る史実との落差と現在

事前学習	図師宣忠(編著)『映画で味わう中世ヨーロッパ―歴史と伝説が織りなす魅惑の世界』京都:ミネルヴァ書房 2024 などの参考文献を読む	時間	60 分
事後学習	授業内容をまとめておく。不明な点や関心を持った点について調査、考察する。	時間	30 分

7.7:「吟遊詩人」の中世史―トルバドゥールとミンネジガーという「伝説」

フランス中世文学史の中のトルバドゥール、ドイツ中世文学史の中のミンネジガー

事前学習	上尾信也『吟遊詩人増補改訂版』新紀元社、2026)◆第1章 歴史の中の吟遊詩人を読む	時間	60 分
事後学習	授業内容をまとめておく。不明な点や関心を持った点について調査、考察する。	時間	30 分

8.8: 史料ーダンテ『神曲』、「ヴィダス」(伝記)、マネッセ歌謡写本

トルバドゥール写本からみる、トルバドゥールの生きたとされる時代と 150 年後の写本が成立する時代の落差

事前学習	『吟遊詩人増補改訂版』◆第 2 章 トルバドゥールの世界を読む	時間	60 分
事後学習	授業内容をまとめておく。不明な点や関心を持った点について調査、考察する。	時間	30 分

9.9: トルバドゥールの歌、十字軍の物語

トルバドゥールの多くが参加した十字軍の物語化について

事前学習	『吟遊詩人増補改訂版』◆第 2 章 トルバドゥールの世界◆第 3 章 トルバドゥール列伝を読む	時間	60 分
事後学習	授業内容をまとめておく。不明な点や関心を持った点について調査、考察する。	時間	30 分

10.10: ミネジンガーの調べ、マイスタージンガーの歌謡

文学史と口承歌謡

事前学習	井出万秀『ドイツ中世文学史』東京: 郁文堂 2025 兵藤裕己『物語伝承論』東京: 青土社、2025 などの参考文献、教科書『吟遊詩人増補改訂版』◆第 4 章 ミネジンガーの世界を読む	時間	60 分
事後学習	授業内容をまとめておく。不明な点や関心を持った点について調査、考察する。	時間	30 分

11.11: 聖母マリアのカンティーガスー楽器の中世史

事前学習	浅香武和(編著)、浅野ひとみ、杉本ゆり、上尾信也『カンティガス・デ・サンタ・マリアへの誘いー聖母マリア頌歌集』東京: 論創社 2023: 第七章 『聖母マリア頌歌集』エスコリアル E 写本にみる中世の楽器と楽師について(上尾信也)、教科書『吟遊詩人増補改訂版』◆第 1 章 歴史の中の吟遊詩人を読む	時間	60 分
事後学習	授業内容をまとめておく。不明な点や関心を持った点について調査、考察する。	時間	30 分

12.12: 遊芸人の系譜ージョングルール

歌謡・芸能を伝える者、古代から近代までの芸能者の系譜

事前学習	『吟遊詩人増補改訂版』◆第 6 章 吟遊詩人とは、を読む	時間	60 分
事後学習	授業内容をまとめておく。不明な点や関心を持った点について調査、考察する。	時間	30 分

13.13: ジョングルールの声ー「bon son」と「dolce melos」

声や歌がことば以上に伝えるもの

事前学習	『吟遊詩人増補改訂版』増補第7章ジョングルールの声を読む	時間	60分
事後学習	授業内容をまとめておく。不明な点や関心を持った点について調査、考察する。	時間	30分

14.14: 中世の音は聞こえないー五感の歴史学へ

感情・感性の歴史学 総論:感性の歴史コルバンから感情社会学まで

中世の感情表現

文献 文字と書物

非文献 声と音・音楽、色と衣、表象、

事前学習	教科書とレジュメ、参考文献などを再読する	時間	30分
事後学習	授業内容をまとめたものを中心に、報告の準備をする	時間	60分

15.報告とまとめ

事前学習	調査報告の資料を作る	時間	60分
事後学習	報告後のディスカッションを基に報告書をまとめる	時間	30分

【授業展開と内容-後期】

1.「楽器」 Musical Instruments: real or fantasy

楽器学の方法:楽器学 残存する楽器の復元と現代の楽器からの推測、文献史料・図像資料などからの復元。

リアリティかファンタジーか

事前学習	事前配布資料を読む	時間	30分
事後学習	授業内容をまとめておく。不明な点や関心を持った点について調査、考察する。	時間	60分

2.音楽の記憶と記録

種の記憶、リズム、ポリリズム

集団、メロディーと個

経験による音楽

よい響きを求める(包まれ感、母胎、性的快楽)への感性

良い響きのためのメリスマ歌唱、器楽の装飾オーナメンテーション、と持続低音あるいはドローン

オルガヌムとは響き

――

考古学

骨製フルート、人類最古の楽器と判明 | ナショナル ジオグラフィック日本版サイト

事前学習	https://share.google/WdKHVCTWMqjJ89eSv など事前配布資料を読む	時間	
事後学習	授業内容をまとめておく。不明な点や関心を持った点について調査、考察する。	時間	60 分

3.古代の楽器 Musical Instruments of the Ancient Greek and Rome

アンフォラの楽器 ギリシア file 1 file 1-1 古代ユーラシア、1-2 ギリシアとローマ

インドルスの楽器 ローマ file 2 インドルスの楽器論

アウロス

リラ

事前学習	事前配布資料を読む	時間	30 分
事後学習	授業内容をまとめておく。不明な点や関心を持った点について調査、考察する。	時間	60 分

4.聖書の楽器 Musical Instruments of the Bible

詩篇と黙示録 file 3 file3-1 詩編の楽器、3-2 黙示録の楽器

栄光の門の楽器

ギター

事前学習	事前配布資料を読む	時間	30 分
事後学習	授業内容をまとめておく。不明な点や関心を持った点について調査、考察する。	時間	60 分

5.図像史料の比較

1 ユトレヒト詩篇とシュトゥットガルト詩篇のギター

インドルス『語源』の記述は典拠か。

リアル(答え合わせ)としての栄光の門と聖母マリアのカンティーガス写本

2 ヴィルドゥングとプレトリウスの楽器

聖書、古代、海外

3 楽器の復興と発達

近代の古代楽器と個性楽器

事前学習	事前配布資料を読む	時間	30 分
------	-----------	----	------

事後学習	授業内容をまとめておく。不明な点や関心を持った点について調査、考察する。	時間	60 分
------	--------------------------------------	----	------

6.歌謡の楽器 Musical Instruments in the Medieval Europe

聖母マリアのカンティーガスの楽器

トルバドゥールとミンネジンガーの楽器

ヴィダス写本とマネッセ写本

ヴィエール

事前学習	事前配布資料を読む	時間	30 分
事後学習	授業内容をまとめておく。不明な点や関心を持った点について調査、考察する。	時間	60 分

7.天使の奏楽というファンタジー

天使の奏楽

メムリンクとヴェネツィア派

象徴としての楽器

聴覚—五感

性と死

事前学習	事前配布資料を読む	時間	30 分
事後学習	授業内容をまとめておく。不明な点や関心を持った点について調査、考察する。	時間	60 分

8.ルネサンスとバロック＝楽器の革新期

ルネサンスとはなにか

ルネサンス概念—音楽史の時代区分、近代音楽史学の歪み(ゆがみとひずみ)

事前学習	事前配布資料『西洋中世研究』6「音楽史におけるルネサンス再考——作曲家と作品の「越地域性」をめぐって」(上尾信也)を読む	時間	30 分
事後学習	授業内容をまとめておく。不明な点や関心を持った点について調査、考察する。	時間	60 分

9.演奏の楽器～楽器・楽譜・演奏指南書 Musical Instruments of the Renaissance

ヴィルドゥングからプレトリウスまで

演奏の楽器 1

16 世紀の楽器群

オルガン

ショーム(管楽器)

鍵盤楽器(クラヴィコード、チェンバロ)

事前学習	事前配布資料を読む	時間	30 分
事後学習	授業内容をまとめておく。不明な点や関心を持った点について調査、考察する。	時間	60 分

10.鍵盤／楽譜／ユーラシア～楽器をめぐる諸問題

ヒュドラリウスかパイプオルガンか What was pipe-organ? ～鍵盤とは何か

声楽譜と奏法譜—楽譜を見て演奏するのか、演奏を書き写したのか Notation and Music Play

ユーラシアとケルト、ビザンツとイスラームルーツを探せ What is the origine?～撥弦と弓奏擦弦の謎

事前学習	事前配布資料を読む	時間	30 分
事後学習	授業内容をまとめておく。不明な点や関心を持った点について調査、考察する。	時間	60 分

11.19世紀前半の音楽カタログから見える楽器

ピアノ／ハープ／ギター

事前学習	事前配布資料を読む	時間	30 分
事後学習	授業内容をまとめておく。不明な点や関心を持った点について調査、考察する。	時間	60 分

12.オーケストラの楽器のリアリティ

コンサートのレポーターから

事前学習	事前配布資料を読む	時間	30 分
事後学習	授業内容をまとめておく。不明な点や関心を持った点について調査、考察する。	時間	60 分

13.ピアノへの道

産業革命と帝国主義

事前学習	事前配布資料を読む	時間	30 分
事後学習	授業内容をまとめておく。不明な点や関心を持った点について調査、考察する。	時間	60 分

	る。		
--	----	--	--

14.楽器のその後

19 世紀のファンタジー 堅琴

リラの寓意

事前学習	事前配布資料を読む	時間	30 分
事後学習	授業内容をまとめたものを中心に、報告の準備をする	時間	

15.まとめと報告

事前学習	調査報告の資料を作る	時間	
事後学習	報告後のディスカッションを基に報告書をまとめる	時間	

【オフィスアワー】

水曜日 5 時限後に時間を確保します

【テキスト】

1.吟遊詩人 増補改訂版 上尾信也 2026 年

備考:3 月刊行

【教材】

参考文献

『西洋中世文化事典』を楽しむ！！ <https://newspicks.com/topics/enjoyemec/>

岩波「ヨーロッパの中世」シリーズ:特に佐藤彰一『中世世界とは何か』(ヨーロッパの中世 1)、2008;小澤実,薩摩秀登,林邦夫『境界のダイナミズム』(ヨーロッパの中世3)、2009;堀越宏一『ものと技術の弁証法』(ヨーロッパの中世5)、2009;大黒俊二『声と文字』(ヨーロッパの中世 6)、2010;原野昇、木俣元一『芸術のトポス』(ヨーロッパの中世7)、2009;池上俊一『儀礼と象徴の中世』(ヨーロッパの中世8)、2008

池上俊一『歴史学の作法』東京:東京大学出版会、2022

小澤 実/佐藤雄基『グローバルヒストリーのなかの近代歴史学ー歴史を捉え、書き、編む』東京:東京大学出版会、2025

ウィンストン・ブラック、大貫俊夫(監訳)『中世ヨーロッパファクトとフィクション』平凡社、2021

Speculum: A Journal of Medieval Studies, 100-1 (2025 Jan.) Special issue: Medieval Studies and Its Institutions

<https://www.journals.uchicago.edu/toc/spc/current>

岩井淳(編)『複合国家から読み解く世界史:「国民国家史観」再考』東京:山川出版社、2024

図師宣忠(編著)『映画で味わう中世ヨーロッパー歴史と伝説が織りなす魅惑の世界』京都:ミネルヴァ書房 2024

井出万秀『ドイツ中世文学史』東京:郁文堂 2025

兵藤裕己『物語伝承論』東京：青土社、2025

浅香武和(編著)、浅野ひとみ、杉本ゆり、上尾信也『カンティガース・デ・サンタ・マリアへの誘いー聖母マリア頌歌集』東京：論創社、2023

Clouzot, Martine, Le Jongleur Memoire de L'Image Au Moyen Age: Figures, Figurations Et Musicalite Dans Les Manuscrits Enlumines (1200-1330), Bern et al.:Peter Lang, 2011

Rastall, Richard, Minstrels and Minstrelsy in Late Medieval England, with Andrew Taylor, Woodbridge: Boydell, 2023

Ziolkowski, Jan M., The Juggler of Notre Dame and the Medievalizing of Modernity, 6 vols., Cambridge, UK: Open Book, 2018

Ziolkowski, Jan M., Reading the Juggler of Notre Dame: Medieval Miracles and Modern Remakings. Cambridge: Open Book Publishers, 2022.

【その他】

参考文献は、事前学習欄の参照のほか、各授業で指示します。また配布資料は Classroom であらかじめ共有します

博士総合演習[楽書原典研究](独) (a)(前期),(b)(後期)					
担当教員 白井 史人 講師			曜日時限		水 2 時限
実施キャンパス 調布	単位	各 1 単位	対象年次	博士 1 年～	

【授業の概要】

ドイツ語で書かれた音楽書を輪読する。文法を復習しつつ、一定の長さまとまりのある文章を読むために必須となる読解能力を養う。講読する文献は、授業担当者が映像音響分析に関するいくつかの文献の候補を提示し、初回に決定する。文献の候補としては、ベートーヴェンと映画との関連を扱う研究書や事典の事項を予定している。後期については、参加者の専攻などを考慮しつつ分析的な文章を読む予定である。ドイツ語の読解に加え、内容に関するディスカッションや参考となる映像・音響資料の検討もまじえつつ輪読を進める。

【到達目標】

みずからの関心に沿って学術的なドイツ語の文章を読解できるようになることを将来的な目標として設定し、文法構造を意識して文章を正確に読む基礎的な力を養う。また音楽書を読むうえで必要な語彙を身につける。

【履修資格/履修に必要な予備知識や技能】

ドイツ語の初級文法を一通り学習していることが条件である。授業内では必要な文法事項を説明しながら輪読を進めるが、文法を基礎から教えることはしない(2年程度のドイツ語学習歴を想定)。簡単な文章を読んだ経験があることがのぞましいが、不安な場合は初回に相談すること。なお学部・大学院共通授業となる。

【授業の形式】

演習(文献の講読およびディスカッション)。毎回指定された部分を訳してくること。

【成績評価の要点①】

試験	提出課題・作品発表等	受講姿勢
	40%	60%

【成績評価の要点②】

成績評価は、上記の項目についてそれぞれの配分で総合的に判断し、A, B, C, D で評価する。各学期末に授業内で小テストを行い、それを40%で評価する。毎回の訳やディスカッションへの参加度を受講姿勢60%とする。

【課題に対するフィードバックの方法】

訳および授業内課題に関してはその都度授業内でフィードバックする。

【授業展開と内容-前期】

1.文献紹介、講読文献の決定、分担割り振り

事前学習	ドイツ語の基礎的な文法やこれまで読んだことのある文章を復習しておく。	時間	45 分
事後学習	次回の講読部分に目を通し、分からない単語や文構造にチェックを入れておく。	時間	45 分

2.講読とディスカッション①

事前学習	ページ全体を読み、分からない単語を調べたり、文法構造を把握できない部分などをピックアップしておく。	時間	45 分
事後学習	文献に出てきた作品や概念について、音楽事典等で調べて理解を深める。	時間	45 分

3.講読とディスカッション②

事前学習	ページ全体を読み、分からない単語を調べたり、文法構造を把握できない部分などをピックアップしておく。	時間	45 分
事後学習	文献に出てきた作品や概念について、音楽事典等で調べて理解を深める。	時間	45 分

4.講読とディスカッション③

事前学習	ページ全体を読み、分からない単語を調べたり、文法構造を把握できない部分などをピックアップしておく。	時間	45 分
事後学習	文献に出てきた作品や概念について、音楽事典等で調べて理解を深める。	時間	45 分

5.講読とディスカッション④

事前学習	ページ全体を読み、分からない単語を調べたり、文法構造を把握できない部分などをピックアップしておく。	時間	45 分
事後学習	文献に出てきた作品や概念について、音楽事典等で調べて理解を深める。	時間	45 分

6.講読とディスカッション⑤

事前学習	ページ全体を読み、分からない単語を調べたり、文法構造を把握できない部分などをピックアップしておく。	時間	45 分
事後学習	文献に出てきた作品や概念について、音楽事典等で調べて理解を深める。	時間	45 分

7.講読とディスカッション⑥

事前学習	ページ全体を読み、分からない単語を調べたり、文法構造を把握できない部分などをピックアップしておく。	時間	45 分
事後学習	文献に出てきた作品や概念について、音楽事典等で調べて理解を深める。	時間	45 分

8.講読とディスカッション⑦

事前学習	ページ全体を読み、分からない単語を調べたり、文法構造を把握できない部分などをピックアップしておく。	時間	45 分
事後学習	文献に出てきた作品や概念について、音楽事典等で調べて理解を深める。	時間	45 分

9.講読とディスカッション⑧

事前学習	ページ全体を読み、分からない単語を調べたり、文法構造を把握できない部分などをピックアップしておく。	時間	45 分
事後学習	文献に出てきた作品や概念について、音楽事典等で調べて理解を深める。	時間	45 分

10.講読とディスカッション⑨

事前学習	ページ全体を読み、分からない単語を調べたり、文法構造を把握できない部分などをピックアップしておく。	時間	45 分
事後学習	文献に出てきた作品や概念について、音楽事典等で調べて理解を深める。	時間	45 分

11.講読とディスカッション⑩

事前学習	ページ全体を読み、分からない単語を調べたり、文法構造を把握できない部分などをピックアップしておく。	時間	45 分
事後学習	文献に出てきた作品や概念について、音楽事典等で調べて理解を深める。	時間	45 分

12.講読とディスカッション⑪

事前学習	ページ全体を読み、分からない単語を調べたり、文法構造を把握できない部分などをピックアップしておく。	時間	45 分
事後学習	文献に出てきた作品や概念について、音楽事典等で調べて理解を深める。	時間	45 分

13.講読とディスカッション⑫

事前学習	ページ全体を読み、分からない単語を調べたり、文法構造を把握できない部分などをピックアップしておく。	時間	45 分
事後学習	文献に出てきた作品や概念について、音楽事典等で調べて理解を深める。	時間	45 分

14.講読とディスカッション⑬

事前学習	ページ全体を読み、分からない単語を調べたり、文法構造を把握できない部分などをピックアップしておく。	時間	45 分
事後学習	文献に出てきた作品や概念について、音楽事典等で調べて理解を深める。	時間	45 分

15.小テストとフィードバック

事前学習	前期に読んだ部分を見返し、要約を作っておく。	時間	60 分
事後学習	フィードバックを受けて、改めて問題を解いて理解を確認する。	時間	30 分

【授業展開と内容-後期】

1.文献紹介、講読箇所の決定、分担割り振り

事前学習	前期の内容を振り返り、複雑な文法事項を復習しておく	時間	45 分
事後学習	講読する文献やその内容に関して、自身の関心に合わせて調べておく。	時間	45 分

2.講読とディスカッション①

事前学習	ページ全体を読み、分からない単語を調べたり、文法構造を把握できない部分などをピックアップしておく。	時間	45 分
事後学習	文献に出てきた作品や概念について、音楽事典等で調べて理解を深める。	時間	45 分

3.講読とディスカッション②

事前学習	ページ全体を読み、分からない単語を調べたり、文法構造を把握できない部分などをピックアップしておく。	時間	45 分
事後学習	文献に出てきた作品や概念について、音楽事典等で調べて理解を深める。	時間	45 分

4.講読とディスカッション③

事前学習	ページ全体を読み、分からない単語を調べたり、文法構造を把握できない部分などをピックアップしておく。	時間	45 分
事後学習	文献に出てきた作品や概念について、音楽事典等で調べて理解を深める。	時間	45 分

5.講読とディスカッション④

事前学習	ページ全体を読み、分からない単語を調べたり、文法構造を把握できない部分などをピックアップしておく。	時間	45 分
事後学習	文献に出てきた作品や概念について、音楽事典等で調べて理解を深める。	時間	45 分

6.講読とディスカッション⑤

事前学習	ページ全体を読み、分からない単語を調べたり、文法構造を把握できない部分などをピックアップしておく。	時間	45 分
事後学習	文献に出てきた作品や概念について、音楽事典等で調べて理解を深める。	時間	45 分

7.講読とディスカッション⑥

事前学習	ページ全体を読み、分からない単語を調べたり、文法構造を把握できない部分などをピックアップしておく。	時間	45 分
事後学習	文献に出てきた作品や概念について、音楽事典等で調べて理解を深める。	時間	45 分

8.講読とディスカッション⑦

事前学習	ページ全体を読み、分からない単語を調べたり、文法構造を把握できない部分などをピックアップしておく。	時間	45 分
事後学習	文献に出てきた作品や概念について、音楽事典等で調べて理解を深める。	時間	45 分

9.講読とディスカッション⑧

事前学習	ページ全体を読み、分からない単語を調べたり、文法構造を把握できない部	時間	45 分
------	------------------------------------	----	------

	分などをピックアップしておく。		
事後学習	文献に出てきた作品や概念について、音楽事典等で調べて理解を深める。	時間	45 分

10.講読とディスカッション⑨

事前学習	ページ全体を読み、分からない単語を調べたり、文法構造を把握できない部分などをピックアップしておく。	時間	45 分
事後学習	文献に出てきた作品や概念について、音楽事典等で調べて理解を深める。	時間	45 分

11.講読とディスカッション⑩

事前学習	ページ全体を読み、分からない単語を調べたり、文法構造を把握できない部分などをピックアップしておく。	時間	45 分
事後学習	文献に出てきた作品や概念について、音楽事典等で調べて理解を深める。	時間	45 分

12.講読とディスカッション⑪

事前学習	ページ全体を読み、分からない単語を調べたり、文法構造を把握できない部分などをピックアップしておく。	時間	45 分
事後学習	文献に出てきた作品や概念について、音楽事典等で調べて理解を深める。	時間	45 分

13.講読とディスカッション⑫

事前学習	ページ全体を読み、分からない単語を調べたり、文法構造を把握できない部分などをピックアップしておく。	時間	45 分
事後学習	文献に出てきた作品や概念について、音楽事典等で調べて理解を深める。	時間	45 分

14.講読とディスカッション⑬

事前学習	ページ全体を読み、分からない単語を調べたり、文法構造を把握できない部分などをピックアップしておく。	時間	45 分
事後学習	文献に出てきた作品や概念について、音楽事典等で調べて理解を深める。	時間	45 分

15.小テストとフィードバック

事前学習	後期に読んだ部分を見返し、要約を作っておく。	時間	60 分
事後学習	フィードバックを受けて、改めて問題を解いて理解を確認する。	時間	30 分

【オフィスアワー】

質問がある場合は、水曜日の授業時間の前後に時間を確保する。

【テキスト】

1. Lexikon der Filmmusik Manuel Gervink, Matthias Bückle 編 2012 年 978-3-89007-558-7

備考: 自身で購入する必要はない。

2. Beethoven im Film: Titan auf Tonspur und Leinwand Albrecht Riethmüller 編 2022 年 978-3-96707-608-0

備考: 自身で購入する必要はない。

【教材】

上記のテキストなどから抜粋して配布する。このほか、以下の書籍を参考とするが、事前に購入する必要はない。

沼口隆、安川智子、齋藤桂、白井史人(編)『ベートーヴェンと大衆文化 受容のプリズム』、春秋社、2024 年。(講読する文献の内容に合わせて、抜粋して参照する場合がある。)

中島悠爾、平尾浩三、朝倉巧『必携ドイツ文法総まとめ』、白水社、2003 年。(文法事項をおさらいするのに便利な本。特に必須ではない。)

博士総合演習[楽書原典研究](仏) (a)(前期),(b)(後期)					
担当教員 永井 玉藻 講師			曜日時限		木 2 時限
実施キャンパス	仙川	単位	各 1 単位	対象年次	博士 1 年～

【授業の概要】

フランス語で執筆された音楽関連の書籍を取り上げ、抜粋で講読する。課題文について、文法の解説を行うと同時に、文章が書かれた背景や関連する作品に関して説明する。また、各回で練習問題を解くことで、フランス語の読解力と運用能力を高める。

【到達目標】

・フランス語の基礎文法を再確認し、欧州評議会レベル B1 以上相当の文章を読むことができるようになる。

【履修資格/履修に必要な予備知識や技能】

フランス語の読解については、最低でも 1 年間は一通りの文法事項を学び、さまざまな過去形の用法の違いがあることや、直接法や条件法、接続法の違いなどについて大まかな知識を得ていることを履修の前提とする。フランス語の読解能力については、初回の授業でテストを実施するため、受講希望者は必ず初回の授業に出席すること。また、指定された課題や事前学習、授業内の課題実施に積極的に取り組み、授業を通して得た知識を自らの研究やレポート執筆に活用する意欲を持っていること。

【授業の形式】

講義を中心とするが、言語は実際に使わないと身につかないため、実践も重視して行う。

【成績評価の要点①】

試験	提出課題・作品発表等	受講姿勢
	70%	30%

【成績評価の要点②】

成績評価は、上記の項目に基づき A, B, C, D で評価する。

【課題に対するフィードバックの方法】

次回授業時にフィードバックする。

学年末試験／学年末レポートについては Classroom に講評を掲載する。

【授業展開と内容-前期】

1.オリエンテーション、フランス語読解能力の確認テスト

事前学習	フランス語基礎文法の確認をしておく。	時間	45 分
事後学習	指定された課題に取り組み、次週授業に備える。	時間	45 分

2.課題文を読む①

事前学習	前週に指定された課題に取り組む。	時間	45 分
事後学習	文法事項の確認、データベースでの資料検索を行う。	時間	45 分

3.課題文を読む②

事前学習	前週に指定された課題に取り組む。	時間	45 分
事後学習	文法事項の確認、データベースでの資料検索を行う。	時間	45 分

4.課題文を読む 3

事前学習	前週に指定された課題に取り組む。	時間	45 分
事後学習	文法事項の確認、データベースでの資料検索を行う。	時間	45 分

5.課題文を読む 4

事前学習	前週に指定された課題に取り組む。	時間	45 分
事後学習	文法事項の確認、データベースでの資料検索を行う。	時間	45 分

6.課題文を読む 5

事前学習	前週に指定された課題に取り組む。	時間	45 分
事後学習	文法事項の確認、データベースでの資料検索を行う。	時間	45 分

7.課題文を読む 6

事前学習	前週に指定された課題に取り組む。	時間	45 分
事後学習	文法事項の確認、データベースでの資料検索を行う。	時間	45 分

8.課題文を読む 7

事前学習	前週に指定された課題に取り組む。	時間	45 分
事後学習	文法事項の確認、データベースでの資料検索を行う。	時間	45 分

9.課題文を読む 8

事前学習	前週に指定された課題に取り組む。	時間	45 分
事後学習	文法事項の確認、データベースでの資料検索を行う。	時間	45 分

10.課題文を読む 9

事前学習	前週に指定された課題に取り組む。	時間	45 分
事後学習	文法事項の確認、データベースでの資料検索を行う。	時間	45 分

11.課題文を読む 10

事前学習	前週に指定された課題に取り組む。	時間	45 分
事後学習	文法事項の確認、データベースでの資料検索を行う。	時間	45 分

12.課題文を読む 11

事前学習	前週に指定された課題に取り組む。	時間	45 分
事後学習	文法事項の確認、データベースでの資料検索を行う。	時間	45 分

13.課題文を読む 12

事前学習	前週に指定された課題に取り組む。	時間	45 分
事後学習	文法事項の確認、データベースでの資料検索を行う。	時間	45 分

14.課題文を読む 13

事前学習	前週に指定された課題に取り組む。	時間	45 分
事後学習	文法事項の確認、データベースでの資料検索を行う。	時間	45 分

15.課題文を読む 14

事前学習	前週に指定された課題に取り組む。	時間	45 分
事後学習	文法事項の確認、データベースでの資料検索を行う。	時間	45 分

【授業展開と内容-後期】

1.オリエンテーション

事前学習	フランス語基礎文法の確認をしておく。	時間	45 分
事後学習	文法事項の確認、データベースでの資料検索を行う。	時間	45 分

2.課題文を読む(1)

事前学習	前週に指定された課題に取り組む。	時間	45 分
事後学習	文法事項の確認、データベースでの資料検索を行う。	時間	45 分

3.課題文を読む(2)

事前学習	前週に指定された課題に取り組む。	時間	45 分
事後学習	文法事項の確認、データベースでの資料検索を行う。	時間	45 分

4.課題文を読む(3)

事前学習	前週に指定された課題に取り組む。	時間	45 分
事後学習	文法事項の確認、データベースでの資料検索を行う。	時間	45 分

5.課題文を読む(4)

事前学習	前週に指定された課題に取り組む。	時間	45 分
事後学習	文法事項の確認、データベースでの資料検索を行う。	時間	45 分

6.課題文を読む(5)

事前学習	前週に指定された課題に取り組む。	時間	45 分
事後学習	文法事項の確認、データベースでの資料検索を行う。	時間	45 分

7.課題文を読む(6)

事前学習	前週に指定された課題に取り組む。	時間	45 分
事後学習	文法事項の確認、データベースでの資料検索を行う。	時間	45 分

8.課題文を読む(7)

事前学習	前週に指定された課題に取り組む。	時間	45 分
事後学習	文法事項の確認、データベースでの資料検索を行う。	時間	45 分

9.課題文を読む(8)

事前学習	前週に指定された課題に取り組む。	時間	45 分
事後学習	文法事項の確認、データベースでの資料検索を行う。	時間	45 分

10.課題文を読む(9)

事前学習	前週に指定された課題に取り組む。	時間	45 分
事後学習	文法事項の確認、データベースでの資料検索を行う。	時間	45 分

11.課題文を読む(10)

事前学習	前週に指定された課題に取り組む。	時間	45 分
事後学習	文法事項の確認、データベースでの資料検索を行う。	時間	45 分

12.課題文を読む(11)

事前学習	前週に指定された課題に取り組む。	時間	45 分
事後学習	文法事項の確認、データベースでの資料検索を行う。	時間	45 分

13.課題文を読む(12)

事前学習	前週に指定された課題に取り組む。	時間	45 分
事後学習	文法事項の確認、データベースでの資料検索を行う。	時間	45 分

14.課題文を読む(13)

事前学習	前週に指定された課題に取り組む。	時間	45 分
事後学習	文法事項の確認、データベースでの資料検索を行う。	時間	45 分

15.課題文を読む(14)

事前学習	前週に指定された課題に取り組む。	時間	45 分
事後学習	文法事項の確認、データベースでの資料検索を行う。	時間	45 分

【オフィスアワー】

木曜日 仙川教室にて、授業前後に時間を確保する。

【テキスト】

1.Les derniers musiciens du roi 1761-1792 Youri Carbonnier 2025 年 ¥4,625 9782753596795

【教材】

上記テキストなどから抜粋した箇所を配布する。

【その他】

履修者のフランス語レベルチェックのため、履修希望者は初回授業に必ず出席すること。また、シラバス内容は、履修者の進度や関心、人数に応じて変更する可能性がある。

博士総合演習[音楽資料研究](前期)					
担当教員 安田 和信 准教授			曜日時限		水 5 時限
実施キャンパス	調布	単位	1 単位	対象年次	博士 1 年～

【授業の概要】

音楽文献や楽譜を探索するためのノウハウを学ぶ。音楽学の研究者のみならず、演奏家や作曲家にとっても氾濫する情報を整理することは極めて重要な作業である。この授業では、本学図書館所蔵の資料を実際に手に取りながら、様々な角度から情報収集と整理の方法を見ていきたい。紙媒体のみならず、インターネットによる文献探索等にも時間を割く予定。

【到達目標】

音楽文献の探索法を理解し、情報収集能力を高める。

【履修資格/履修に必要な予備知識や技能】

修士 1 年～。

【授業の形式】

演習。

例年受講者の多い授業であるため、教室のキャパシティを超えた場合は履修制限をする可能性がある。

インターネットを活用した資料検索も積極的に取り上げるため、履修者はスマホやパソコンを持参すること。

【成績評価の要点①】

試験	提出課題・作品発表等	受講姿勢
	70%	30%

【成績評価の要点②】

成績評価は、上記の項目についてそれぞれの配分で総合的に判断し、A, B, C, D で評価する。

【課題に対するフィードバックの方法】

原則として前回の課題について次回授業時にフィードバックする。

【授業展開と内容-前期】

1. イントロダクション(文献とは何か) & 作品目録その1

事前学習	classroom 上の資料を事前に読んでおくこと	時間	20 分
事後学習	授業で触れた資料(およびそれに類似した資料)を実際に手に取り、またはオンラインで確認した上で活用方法を復習すること	時間	70 分

2. 作品目録 1

事前学習	classroom 上の資料を事前に読んでおくこと	時間	20 分
事後学習	授業で触れた資料(およびそれに類似した資料)を実際に手に取り、またはオンラインで確認した上で活用方法を復習すること	時間	70 分

3. 作品目録 2

事前学習	classroom 上の資料を事前に読んでおくこと	時間	20 分
事後学習	授業で触れた資料(およびそれに類似した資料)を実際に手に取り、またはオンラインで確認した上で活用方法を復習すること	時間	70 分

4. 作曲家研究 (Year Book/書簡集/ドキュメント/研究書)

事前学習	classroom 上の資料を事前に読んでおくこと	時間	20 分
事後学習	授業で触れた資料(およびそれに類似した資料)を実際に手に取り、またはオンラインで確認した上で活用方法を復習すること	時間	70 分

5. 伝記記述 (Bach/Mozart/Beethoven)

事前学習	classroom 上の資料を事前に読んでおくこと	時間	20 分
事後学習	授業で触れた資料(およびそれに類似した資料)を実際に手に取り、またはオンラインで確認した上で活用方法を復習すること	時間	70 分

6. 伝記的ビブリオグラフィ (Bio-bibliography/A Guide to Research)

事前学習	classroom 上の資料を事前に読んでおくこと	時間	20 分
事後学習	授業で触れた資料(およびそれに類似した資料)を実際に手に取り、またはオンラインで確認した上で活用方法を復習すること	時間	70 分

7.音楽学文献(Allen/Laaber/Duckles/Marco)と音楽資料事典

事前学習	classroom 上の資料を事前に読んでおくこと	時間	20 分
事後学習	授業で触れた資料(およびそれに類似した資料)を実際に手に取り、またはオンラインで確認した上で活用方法を復習すること	時間	70 分

8.Music Index/RILM/RIdM/RIPM

事前学習	classroom 上の資料を事前に読んでおくこと	時間	20 分
事後学習	授業で触れた資料(およびそれに類似した資料)を実際に手に取り、またはオンラインで確認した上で活用方法を復習すること	時間	70 分

9.楽譜出版・全集の歴史

事前学習	classroom 上の資料を事前に読んでおくこと	時間	20 分
事後学習	授業で触れた資料(およびそれに類似した資料)を実際に手に取り、またはオンラインで確認した上で活用方法を復習すること	時間	70 分

10.楽譜目録の歴史(Hofmeister=Whistling/Pazdirek)

事前学習	classroom 上の資料を事前に読んでおくこと	時間	20 分
事後学習	授業で触れた資料(およびそれに類似した資料)を実際に手に取り、またはオンラインで確認した上で活用方法を復習すること	時間	70 分

11.定期刊行物(雑誌)と On-line 論文・雑誌検索

事前学習	classroom 上の資料を事前に読んでおくこと	時間	20 分
事後学習	授業で触れた資料(およびそれに類似した資料)を実際に手に取り、またはオンラインで確認した上で活用方法を復習すること	時間	70 分

12.叢書楽譜

事前学習	classroom 上の資料を事前に読んでおくこと	時間	20 分
事後学習	授業で触れた資料(およびそれに類似した資料)を実際に手に取り、またはオンラインで確認した上で活用方法を復習すること	時間	70 分

13.RISM の詳細

事前学習	classroom 上の資料を事前に読んでおくこと	時間	20 分
事後学習	授業で触れた資料(およびそれに類似した資料)を実際に手に取り、またはオンラインで確認した上で活用方法を復習すること	時間	70 分

14.音楽事典

事前学習	classroom 上の資料を事前に読んでおくこと	時間	20 分
事後学習	授業で触れた資料(およびそれに類似した資料)を実際に手に取り、またはオンラインで確認した上で活用方法を復習すること	時間	70 分

15.前期のまとめ

事前学習	classroom 上の資料を事前に読んでおくこと	時間	20 分
事後学習	前期で学習した資料の活用方法についてしっかり復習をすること	時間	70 分

【オフィスアワー】

水曜 5 限後 調布にて時間を確保します

【教材】

原則として毎回、Classroom を通じて資料を配布する。参考書については授業内で指示する。

博士総合演習 EⅡ[作曲法研究](集中)					
担当教員 下山 静香 講師			曜日時限		木 4 時限
実施キャンパス 調布	単位	1 単位		対象年次	博士 1 年～

【授業の概要】

＜複眼でとらえる音楽＞

音楽とは人々の営みから生まれるものであり、社会や時代と切り離すことはできない。本講座では、「グローカル」と「越境」をテーマに、様々な音楽事象を複眼的に学ぶとともに、多様な芸術表現に触れていく。

【到達目標】

すべての事象はつながっているということを理解し、音楽を学び研究するにあたり広い視野と想像力・創造力をもてるようにする。また、歴史的・文化的・芸術的な知識を豊かにし、多角的な見方を養えるようにする。

【履修資格/履修に必要な予備知識や技能】

特になし

【授業の形式】

講義を中心とし、適宜音源や映像も視聴する。

【成績評価の要点①】

試験	提出課題・作品発表等	受講姿勢
	50%	50%

【成績評価の要点②】

成績評価は、上記の項目に基づき A, B, C, D で評価する。

【課題に対するフィードバックの方法】

課題へのフィードバックは後日メールにて行なう。

【授業展開と内容-前期】

1.【5月21日】

＜エキゾチシズムと音楽＞ 1)ヨーロッパ音楽におけるオリエンタリズム

オリエンタリズムの歴史は長い。チュルクリ、アラビア趣味、シノワズリ、ジャポニズム...これらの潮流はどのように音楽作品に投影されてきたのか。バロックから近代までにみられた現象を、時代背景とともにみていく。

事前学習	エキゾチシズムとは何かを考えておくこと。	時間	20 分
事後学習	授業で扱った音楽をさらに分析してみること。	時間	70 分

2.【5月28日】

＜エキゾチシズムと音楽＞ 2)パリとエキゾチシズム

パリは、エキゾチシズムにとりわけ敏感な都市である。音楽界では19世紀後半から20世紀初頭にかけてスペインブームが起き、レザネ・フォル期にはジャズ、タンゴなど南北アメリカ発の音楽にもいち早く反応している。

サティ、ドビュッシー、ラヴェル、ミヨーの音楽をとおして、20世紀初頭のパリの精神を体験する。

事前学習	ベル・エポックとレザネ・フォルについて軽く調べておくこと。	時間	25 分
事後学習	授業で扱った曲を、可能であれば実際に演奏してみること。	時間	65 分

3.【6月4日】

＜ロマと音楽＞

ロマ(ジプシー)の音楽は18世紀から多くの作曲家を魅了し、数々の作品が生まれてきた。ロマ人口が多いルーマニア、スペイン、ハンガリー、ロシアのロマ音楽を紹介し、芸術音楽における様々な「ロマ風」を掘り下げる。

事前学習	ロマ風(ジプシー風)の音楽を演奏したことのあるかたは、その時どのようなアプローチで解釈したかをまとめておくこと。	時間	20 分
事後学習	ロマ風(ジプシー風)とされているもので、授業で扱わなかった楽曲を分析してみること。	時間	70 分

4.【6月11日】

＜ファリャ研究＞

2026年、生誕150年を迎えたマヌエル・デ・ファリャ。「真にスペイン的な音楽であると同時にユニヴァーサルな音楽」を目指したファリャは、スペイン音楽のモダン化を促進し、現代スペイン音楽に大きな影響を与えている。

彼がスペインの音楽要素——特にフラメンコをどのように自身の音楽言語としていったのかを、作品分析を通して探る。

事前学習	ファリャの代表的な作品を聴いてみる。	時間	30 分
事後学習	スペイン以外の国におけるファリャ的な存在の作曲家を調べてみる。	時間	60 分

5.【9月17日】

＜ピアノニズム研究＞

ピアノニズムは多様であり、地域や時代によっても変化する、また、「異端」的存在が現れては業界に刺激を与えている。

そもそも「ショパン的な弾き方」「フランス的な弾き方」「タンゴ的な弾き方」とは？・・・なんでもありの様相を呈するこの時代に、

「スタイル」とはなにかを見つめ直してみる。

事前学習	ピアノを弾くかたは、自身のピアノイズムがどこに根差しているかを考えてみることに。	時間	20 分
事後学習	自身がとりいれたい奏法があれば試してみることに。	時間	70 分

6.【9 月 24 日】

＜ことばと音楽、社会と音楽＞

＜社会と音楽、音楽と民衆＞

音楽は、これまで何度となく人々の希望の象徴になってきた。また、ことばを使う「歌」は人々の団結を容易にし、ときには社会を変えるほどの力をもつ。

第九、エル・システマ、フォークソング、ヌエバ・カンシオン(新しい歌)など、社会が音楽を生んだ例、音楽が社会を変えた例をみていく。

事前学習	音楽は人々にどのような作用をし得るか、考えておくこと。	時間	25 分
事後学習	自身の国でそのような音楽、歌があるか考えてみることに。	時間	65 分

7.【10 月 1 日】

＜ワルツとハバネラ、旅するダンス音楽＞

ウィーン会議を機に世界に広がり、行き着いた先で異なる個性を獲得していったワルツ。キューバから羽ばたいていき、各地で発展と変容をみたハバネラ。二つのダンス音楽がたどったダイナミックな旅路をひもとく。

事前学習	ワルツの音楽の特徴とダンスの特徴を確認しておくこと。	時間	25 分
事後学習	ワルツとハバネラに関連して興味を持った音楽があれば、さらに研究してみること。	時間	65 分

8.【10 月 15 日】

＜アルゼンチン音楽の諸相＞

移民大国といわれるアルゼンチン。アルゼンチンの文化(もちろん音楽も)は、移民なくしては語れない。先住民族、ヨーロッパ、アフリカの要素が混じり合う多様なフォルクローレ、そのエッセンスを生かした国民楽派的な芸術音楽、本国においてはローカルな存在ながら国際的な地位を獲得したタンゴを、「人の流れ」をからめて紹介する。

事前学習	アルゼンチンの歴史を確認しておくこと。	時間	20 分
事後学習	アルゼンチンのクラシック音楽をさらに聴いてみることに。 可能ならば演奏もしてみることに。	時間	70 分

【オフィスアワー】

授業の前後に教室にて時間を確保します。

博士総合演習 G[コンピューター音楽研究](集中)					
担当教員 田川 浩太郎 講師			曜日時限		火 6 時限
実施キャンパス	調布	単位	1 単位	対象年次	博士 1 年～

【授業の概要】

作曲法演習 DII で習得した Max プログラミング技術を土台に、インタラクティブアート、マルチメディア作品制作のためのより高度なコンピュータ音楽創作技法を探究していく。

その過程として Fixed media 作品制作、Pro Tools による録音/編集といったコンピュータ音楽関連技術を総合的に学習していく。

【到達目標】

- ・音響合成技術を理解し、表現目的に応じて選択・設計できるようになる。
- ・合成音を制作環境へ統合し、時間構造および空間構造を構築することができるようになる。
- ・自身の作品について理論的観点から説明し、批評的に検証できるようになる。

【履修資格/履修に必要な予備知識や技能】

作曲専攻生対象

担当教員の判断により例外的に再履修または演奏専攻学生の履修を認めることがある

【授業の形式】

コンピュータを使った演習。履修者は Max (<https://cycling74.com/products/max>) (<https://cycling74.com/products/max>) がインストールされているラップトップ・コンピュータを持参することが望ましい。

Max は Macintosh コンピュータ、および Windows PC で稼働する。(備考:Macintosh コンピュータ推奨)

【成績評価の要点①】

試験	提出課題・作品発表等	受講姿勢
	60%	40%

【成績評価の要点②】

成績評価は、上記の項目に基づき A, B, C, D で評価する。

【課題に対するフィードバックの方法】

次回授業時にフィードバックする。

学年末試験／学年末レポートについては Classroom に講評を掲載する。

【授業展開と内容-前期】

1.4月14日(火)

各自が作曲したコンピュータ音楽作品の検証

事前学習	自己が制作したコンピュータ音楽作品を客観的に評価する。	時間	60分
事後学習	コンピュータ音楽で使用するソフトウェアについて調べる	時間	30分

2.5月12日(火)

音響合成演習 1

事前学習	グラニューラシンセシスについて調べる	時間	45分
事後学習	授業で作ったパッチを編集してみる	時間	45分

3.6月16日(火)

音響合成演習 2

事前学習	フォルマントについて調べる	時間	45分
事後学習	授業で作ったパッチを編集してみる	時間	45分

4.7月14日(火)

音響合成技術探求

事前学習	MAX で加工したい音を録音しておく	時間	60分
事後学習	MAX でさらなる加工を試してみる	時間	30分

5.9月15日(火)

DAW 統合演習 1

事前学習	Pro Tools について調べる	時間	30分
事後学習	Pro Tools Intro をインストールしてみる	時間	60分

6.10月13日(火)

DAW 統合演習 2

事前学習	Pro Tools の 各種ツールについて復習しておく	時間	30分
事後学習	MAX で加工した音を Pro Tools で編集してみる	時間	60分

7.11月17日(火)

Fixed media 作品制作

事前学習	自身の作品について検討する	時間	45分
事後学習	自身の作品の制作を進める	時間	45分

8.1月19日(火)

プレゼンテーション

事前学習	プレゼンテーションの準備を行う	時間	45 分
事後学習	必要に応じて修正を行う	時間	45 分

【オフィスアワー】

実施教室にて授業前後に時間を確保します。